

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術

居宅サービス計画等の作成

6日目 9:30~17:00

局面	内容	修得目標の確認	時間	ポイント
講義	第1節 居宅サービス計画原案の作成	居宅サービス計画原案作成の意義と目的 ①居宅サービス計画の意義と目的について説明できる様になる ②居宅サービス計画等の様式における記載の目的について説明できる様になる ③利用者・家族の意向を踏まえた課題の解決に向けた目標の設定を実施できる様になる ④居宅サービス計画実施後の生活の予後を予測できる様になる ⑤居宅サービス計画書に必要な社会資源（インフォーマル等）を位置付ける事ができる様になる ⑥生活目標に応じた必要なサービスを判断できる ⑦生活目標	9:30~ 10:20	情報の整理・分析に基づき、ケアプランを模擬的に作成し、書面に表すことにより多様な気づきを得る
休憩		10:20~10:30		
演習	第2節 居宅サービス計画原案作成上の留意点	1. 利用者・家族の意向を踏まえた課題の解決 ①利用者及び家族の生活に対する意向 ②生活全般の解決すべき課題（ニーズ） 長期目標及び期間 短期目標及び期間	10:30~ 12:00	居宅サービス計画書は、利用者のものであり、当事者が理解できるものでなければならぬことに気づく 個人ワーク（25分） グループワーク（50分） 発表（10分）
昼食・休憩		12:00~13:00		
演習	第2節 居宅サービス計画原案作成上の留意点	2. 生活の変化の予測 居宅サービス計画書（2） サービス内容	13:00~ 14:30	個人ワーク（25分） グループワーク（50分） 発表（10分）
休憩		14:30~14:45		
演習	第2節 居宅サービス計画原案作成上の留意点	3. 生活の変化の予測 居宅サービス計画書（2） サービス種別、頻度、期間 4. 居宅サービス計画書（3） 週間サービス計画表	14:45~ 16:00	個人ワーク（30分） グループワーク（30分） 発表（10分）
休憩		16:00~16:10		
演習	第2節 居宅サービス計画原案作成上の留意点	5. 居宅サービス計画書（1） 総合的な援助の方針	16:10~ 16:30	グループワーク（20分）
		6. グループ発表	16:30~ 16:40	発表（10分）
講義	第3節 居宅サービス計画と個別サービス計画の連動の重要性	① 個別サービス計画（個別援助計画） ② 連動性の確認 ③ 利用者・家族が合意できる居宅サービス計画	16:40~ 16:50	個別サービス計画の連動性を確認し居宅サービス計画が効果的に機能するかを確認
講義	まとめ	7. 講評	~17:00	